

総務委員会会議録

日時 平成31年3月15日(金) 開会時間 午後2時52分
閉会時間 午後3時08分

場所 第1委員会室

委員出席者 委員長 水岸 富美男
副委員長 渡辺 淳也
委員 皆川 巖 渡辺 英機 浅川 力三 河西 敏郎
白壁 賢一 佐藤 茂樹 飯島 修

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

総務部長 鈴木 康之 総務部次長(防災局次長兼職) 神宮司 易
総務部次長(人事課長事務取扱) 村松 稔 行政経営管理課長 石原 洋人
防災局長 若林 一紀 防災局次長(防災危機管理課長事務取扱) 小澤 祐樹

議題 (付託案件)

- 第63号 山梨県部等設置条例及び山梨県防災会議条例中改正の件
- 第64号 山梨県副知事の定数条例中改正の件
- 第65号 包括外部監査契約締結の件

審査の結果 付託案件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 午後2時52分から午後3時08分まで審査を行った。

主な質疑等

※第 63 号 山梨県部等設置条例及び山梨県防災会議条例中改正の件

質疑

浅川委員 組織再編に当たっては、県の重点施策や県政課題等に対し、チャレンジ精神に満ちた、スピード感あふれる積極的な行政が推進できるような体制の整備が必要だと考えております。500日を切ったわけですが、今回、オリンピック・パラリンピック推進局を設置する目的は何でしょう。

石原行政経営管理課長 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に当たりましては、国を初め、関係機関ですとか、民間事業者等が大会の成功に向けた取り組みを加速させていくことが予測されております。

現行のオリンピック・パラリンピック推進室は、組織横断的に取り組む体制を強化するために、政策の企画立案及び総合調整を所管する総合政策部に設置したものでございます。

今後は、大会の本番に向けまして、限られた期間の中で、受け入れ準備です

とか、機運醸成、大会の遺産としてのレガシーを地域活性化につなげる取り組みなどを一層充実強化していく必要があると考えております。

このため、指揮命令系統の明確化と迅速化を図りまして、スピード感ある施策の推進に向け、東京オリンピック・パラリンピックに特化した独立の局を設置するというものでございます。

浅川委員　　今までは室だったわけですが、局に変えるということで、構成メンバーはふやすのですか。

石原行政経営管理課長　人員につきましては、今、組織も含めまして、詰めに入っている段階でございますので、現時点では申し上げることができません。

浅川委員　　子育て支援局を設置する目的は何か、また、所管する業務はどのようなものを考えているのか、お伺いします。

石原行政経営管理課長　現在、本県におきましては、結婚ですとか、妊娠、出産、子育て、児童虐待防止対策等の子供の福祉に関する業務というものが、いくつかの部局にまたがっております。このため、子育てしやすき日本一の実現に向けまして、一元的な子育て支援体制を強化しまして、関連施策を切れ目なく、着実かつ効果的に推進していくために、子育て支援局を設置したいと考えております。

所管の業務につきましては、子育てに関する業務としまして、結婚支援ですとか、各種子育て支援施策の推進、また、保育所とか幼稚園、母子の健康維持に関する業務等を所管する予定でございます。また、あわせまして、子供の福祉に関する業務といたしましては、児童虐待防止対策ですとか、ひとり親家庭の支援、子供の貧困対策の推進に関する業務等の所管を考えております。

浅川委員　　組織再編することは大変すばらしいことだと思いますが、他の都道府県ではどのような対応をしているのか、分かったら教えてください。

石原行政経営管理課長　今回のように、子供という名前を付けた部局の下に、子育て関連施策を担う課をいくつか設置している自治体というのは、全国の半数近くに及んでいる状況でございます。例えば、近県ですと、静岡県におきまして、こども未来局という局を設置しております。

白壁委員　　オリンピック・パラリンピック推進局というのは、先ほどもレガシーの創出というのがありましたけど、これは時限的なものになるんだろうね。レガシーというと、後世に遺産を残すとか、後世に経緯を伝える、もしくは施策の中に生かすということだけど、それが終わるまでかね。いつ頃までの計画でやっていくんだろう。

石原行政経営管理課長　今のところの考えですと、2020年に開催されますので、2020年度までの限定的な設置と考えております。

白壁委員　　2020年でオリンピックだからね。それが終わってしまって、すぐにこの推進局ということではなく、先ほどから言われるレガシーだよ。これをいかに後世に残していくか、これを伝えていくか、これを生かして違うものを作り上げるとか、文化を作るとか、スポーツの振興とかということじゃないかと思うんだけど、こういった計画をしっかりと作っているのかね。計画。こういうレガシーをどう生かしていこう、だから、何年までにこういう目的を達成すると。計画がなければ、作っただけで宝の持ち腐れになってしまう。このスポーツをこう伸ばしていったり、振興を盛んにしていったり、もしくは自転車ロードレ

ースがある、そのためにこれをこうしていこう、ああしていこう、それをいつ頃までにこうしようという計画が立ててあるんだろうね。

石原行政経営管理課長 白壁委員がおっしゃったように、どういうレガシーが考えられて、そのレガシーを実現するために、どういった施策、取り組みが必要かということは、大変重要なことだと思います。

組織におきましても、このようなことは考えていかなければならないものと考えております。

白壁委員 「まだできてないんだから、計画も立てられるわけじゃないか」じゃなくて、こういうものは、この程度のところまでは時限的な施策としていって、そこから先については、今度はこういうふうに変えていくというようなことがないと、今言われるように、2020年で「はい、終わります」と言われたときには、じゃあ、さっき言ったレガシーは何なのという話になってしまう。

この計画の中でこういうことをして、この程度のところでこういう方向に持っていくということをしていただければ、「ああ、なるほどね」となるけど、どうだろう。

鈴木総務部長 まさにご指摘のとおりでございます。

正直なところを言いますと、レガシーという点は、オリンピック・パラリンピック推進室では意識はしているところですが、ただいま現在のことで手一杯の部分もありまして、具体的にどういうスケジュールでやっていこうということは、まだ詰め切れていないところもあるかもしれません。

一方で、先ほど石原行政経営管理課長が申し上げたのも、あくまで2020年は一つの目安で、そこで終わるということは直ちに決めているわけでもございません。予定としておりますという趣旨で申し上げたところですが、その点は2020年が一つのめどになるのかなと考えておりますけど、その後、具体的にどういう事業をやるのかということについては、またその時に考えていきたいと思っております。

ただ、やはり、2020年というのが一つの区切りではございますので、そのあといろいろとレガシーの活用をやっていく時に、局でやっていくのがいいのか、通常の外の教育委員会でやっていくのがいいのか、文化を担当するところでやっていくのがいいのか、またそれはしっかりと考えて参りたいと思っております。

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第 64 号 山梨県副知事の定数条例中改正の件

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

※第 65 号 包括外部監査契約締結の件

質疑 なし

討論 なし

採決 全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

その他 ・本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

総務委員長 水岸 富美男